



**TOKYO /**

東京都中央区銀座 5-14-16 銀座アピタシオン 1F  
T.03-3546-7356 [info@art-japan.jp](mailto:info@art-japan.jp)

OPEN 11:00 – 19:00

※土・日・祝・最終日は17:00

※Sat. Sun. Holidays & last exhibition day until 5pm  
1f Ginza Habitation, 5-14-16, Ginza, Chuo-ku, Tokyo  
詳細は靖山画廊のホームページをご覧ください。

**TOKYO 凸 /**

東京都中央区銀座 5-14-16 銀座アピタシオン 2F  
SEIZAN Gallery TOKYO 凸の情報は靖山画廊のホームページを  
ご覧ください。

**NEW YORK /**

521 W 26th St, New York, NY 10001  
[www.seizan-gallery.com](http://www.seizan-gallery.com)

※掲載作品は展覧会イメージです。  
※These images may not necessarily be exhibited.

9.7 Thu. – 22 Fri.

Nobutoshi Matsuura

## 松浦延年



「Blue No.566」  
2023年 41×31.8 cm アクリル・油彩・レジン

昨年のSEIZAN GALLERY TOKYO 凸での発表で、その作品世界の奥深さを示した松浦延年。彼の作品は絵画を構成する要素の内、「色彩」に強く焦点を当てており、つややかな表面の奥から湧き上がるような複雑な色彩は、「色は美しい」という感覚を新鮮に再認識させてくれます。靖山画廊での初個展を是非ご高覧下さい。

10.12 Thu. – 20 Fri.

Shunsuke Ochi

## 越智俊介



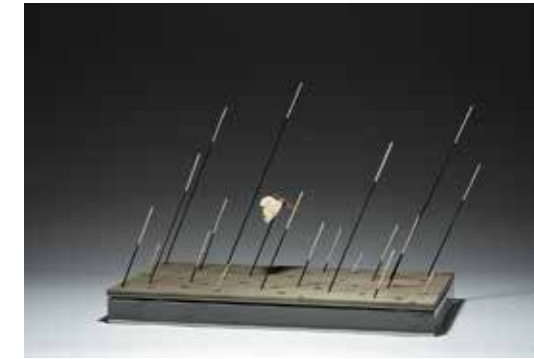
「脳内整地」  
2022年 59.4×42 cm ミクストメディア ※参考図版

越智俊介の今回の個展は2021年以来、2度目となります。彼の制作は、彼自身の生活と強く結びつき、日常の中で感じる葛藤や生きづらさがその根幹に位置しています。そうした思いを抱えながらも不器用に前に進もうとする、ひたむきな思いが彼の作品には込められています。そんなむき出しの熱量を、ぜひ感じて下さい。

10.27 Fri. – 11.3 Fri.

Toru Fukuda

## 福田亨 -水のかたち-



「雨」2023年 45×20×30 cm  
神代楡・神代檜・鶴の木・黒檀・黄楊・栓(緑青腐)・アクリル ※参考図版

工芸という領域の持つ精緻さや、自然を捉える独自の感性で唯一無二の作品を生み出し、着実にファンを増やし続けている福田亨。今回の個展では、「水のかたち」をテーマにした作品を発表いたします。本来であれば色も形も持たない水を、木材によってどう表現するのか。気鋭の作家の新たな試みを楽しみにお待ちしております。

11.10 Fri. – 17 Fri.

Ami Yamashiro

## 山城有未 -無意識の可視化-



「Justice」2023年 SM キャンバス・油彩

今回で2度目となる山城有未の油彩作品による個展は、タロットカードにおける22種の大アルカナをテーマにしています。古くから神秘家たちによって様々な解釈が行われてきたこのテーマに、山城は独自の解釈を加え、現代の作品として新生させました。ずらりと並ぶ謎めいた作品たちから、自分にぴったりの「切り札」を見つけてみてください。

11.25 Sat. - 12.2 Sat. Ayumu Matsuoka

## 松岡歩 -Animal Story-



「逢着」2023年 F6号 紙本彩色 ※参考図版

柔らかな筆致でモチーフを描く日本画家、松岡歩。技術、表現力ともに優れた実力派の作家です。松岡が今回発表するのは、動物たちを主題としたカレンダーを構成する新作展です。その作品の中に描かれる生き物たちは、穏やかな雰囲気を持ちながら、どっしりと構えるたくましさを持っています。そんな静けさの中に佇む彼らが、季節の巡りとともに見せる物語をご覧ください。

12.8 Fri. - 20 Wed. Group Exhibition

## たいせつなもの展 -Hero-



※参考図版

2023年最後の展覧会は、4年ぶりとなる「たいせつなもの展」を開催いたします。今回は「HERO」をテーマに掲げ、そのイメージや言葉から何を連想し、何を表現するのか…。約30名の作家が思うままに表現します。1年の締めくくりの展覧会を心ゆくまで楽しみ下さい。

Xmas Art Festa 12.8 Fri. - 16 Sat.

9.7 Thu. - 22 Fri. TOKYO凸 Yusuke Ishigami

## 石上雄介 - Call -

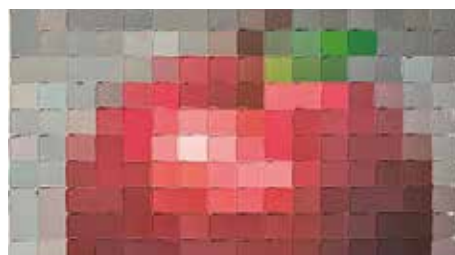


「震える橙(ニツ)」2022年 112x162cm 油彩・キャンバス ※参考図版

昨年のFACE展や Idemitsu Art Award といった公募展での入賞によって、評価が高まっている石神雄介。その作品は、いつかどこかで体験したような記憶や感覚が混ざり合ったワンシーンのようで、思い出を外側から眺めているような不思議な気分になります。ぜひ、現実と幻想の狭間を行き来する作品世界に浸ってみて下さい。

10.12 Thu. - 20 Fri. TOKYO凸 Cougar

## Cougar



「リンゴ」2023年 59.4x42cm 油彩 ※参考図版

油彩でピクセル画をフォトリアリズムとして描く、新人作家 Cougar (クーガー)。SEIZAN GALLERY TOKYO 凸で初となる展示では、「暴力に対抗する非暴力」をテーマにした作品を発表します。1967年、アメリカでのベトナム反戦デモを軍隊が抑圧した際に撮影された「FLOWER POWER」と題された写真をモチーフに、世界で起きる紛争や銃犯罪に対して毅然と「No」を突き付けます。

10.27 Fri. - 11.3 Fri. TOKYO凸 Yoshiki Kikuno

## 菊野祥希



「one's every action」2023年 29.7x21cm ミクストメディア ※参考図版

版を使ったミニマルな画面構成の作品を制作する菊野祥希。筆跡を版として再構成することで、シンプルな線の中に複雑な質感をもたらしており、一見してストイックな画面の中には、その実、とても豊かな表現が織り込まれています。靖山画廊では初めての展示になりますが、この場で自身の制作中での新しい試みに挑戦します。

11.25 Sat. - 12.2 Sat. TOKYO凸 Hajime Nakatomi

## 中臣一



「Frill:espresso」2022年 48.5x33x49cm 真竹・藤 ※参考図版

中臣一は世界中の美術展に多く参加し、海外美術館のパブリックコレクションとして多数作品が収蔵されるなど、国内外で幅広く活躍する日本有数の竹藝家です。真っすぐに伸びる竹のしなやかさを活かし、編み上げられて生まれる曲線は規則的かつ有機的で、一つの生き物のような美しさを持っています。一見すると竹には見えない、けれども竹でしか表現できない造形をご覧ください。

12.8 Fri. - 20 Wed. TOKYO凸 Akiyoshi Nakamura

## 中村彰良



「白龍」2022年 89x61x3cm ミクストメディア ※参考図版

様々な紙を組み合わせ、厚みのある立体的な作品を制作する中村彰良。その伝統的な柄を多用しながらもポップな作品は、高い評価を獲得しています。今回の展示では新年に向け、来年の干支である力強い龍をモチーフにした作品を展示します。豊かな色彩が生み出すパワフルな画面と親しみやすさが共存した作品にご期待下さい。



SEIZAN GALLERY  
NEW YORK

SEIZAN Gallery New York は、2018年にロウアー・マンハッタン、チェルシーにオープン。最新アートの発信地ともよばれるチェルシーで、日本で活躍するアーティストを中心に伝統的なルーツを持ちながらも国や文化の垣根を超える普遍的な魅力を持つ作品を紹介しております。

Located in the Chelsea neighborhood in New York City. After inaugurating its first exhibition in 2018, SEIZAN Gallery New York has been presenting the work of artists who produce artworks with universal aesthetic appeal yet possess a strong connection to traditional roots.